

Sustainable Report No.122

# 出遅れた日本のプラ資源循環



## ■ リサイクルされ価値が激変する廃プラスチック

- 再生プラスチックの価格がこの1年で急騰しており、**バージン原料よりも高値**で取引され始めている
- 世界的な**脱炭素潮流が引き金**となり、国内外で**プラスチック資源を巡って争奪戦**が激しくなっている  
(カーボンプライシングの流れから、企業が課金・課税を想定した背景)
- 再生プラスチック原料が不足したことで、各メーカーが掲げる**再生プラスチック使用目標の達成が難しい状況**になりつつある。

## ■ バージン材より高値で取引される再生PET原料

種別	用途	単価 (円/kg)
再生フレーク	短繊維向け	110~115
再生フレーク	シート向け	110~115
再生ペレット	長繊維向け	170~180
再生ペレット	飲料ボトル向け	220~230
バージンペレット	各種用途	130~140

出典：プラスチックジャーナル20211101号を基に当社作成

## ■ 課税・課金への圧力

○プラスチック資源循環促進法  
→2035年までに使用済みプラスチックの100%をリユース・リサイクルへ

○プラスチック税  
→リサイクル材利用の義務化 / 重量に対する課税

○炭素税  
→日本はスウェーデンと比較して1/50の税率 (2021年現在)

厳しさを増す再生プラスチック原料の確保

## ■ 海外に流出する廃プラスチック（プラスチック再生原料）

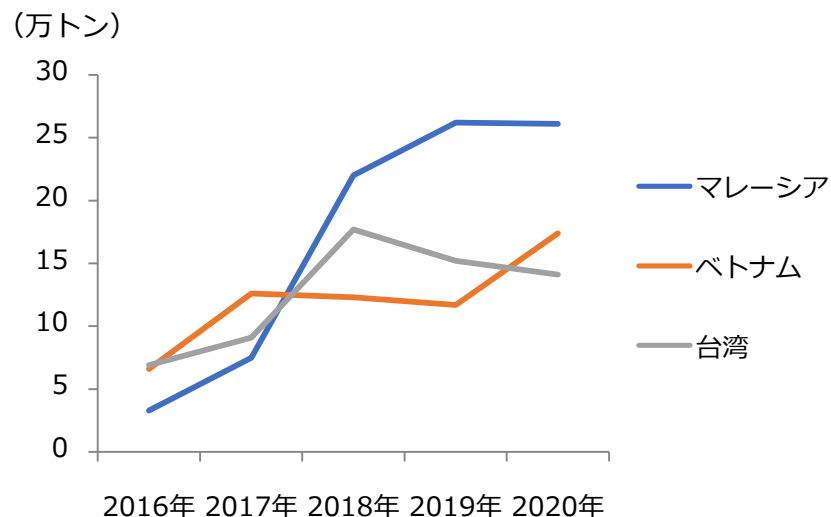
- リサイクルされた「汚れのない廃プラスチック（=再生材）」は**国際的に需要が急増**
- 旺盛な海外需要に、**国内企業が買い負ける**事例が多発
- 現行のバーゼル法では、**廃プラスチック由来再生原料の海外流出**は止められない
- 国内で再生原料の確保が難しく、**プラスチック資源循環の仕組みが構築できない**

## ■ 海外メーカーの再生材使用量（トン）

	2019年実績	2025年目標
コカ・コーラ	267,300	1,485,000
ペプシコ	69,000	575,000
ネスレ	34,000	255,000
ダノン	49,200	205,000
テトラパック	0	14,400

出典：エレンマッカーサー財団Global Commitment2020を基に当社作成

## ■ バーゼル施行後の新たな廃プラスチック輸出先

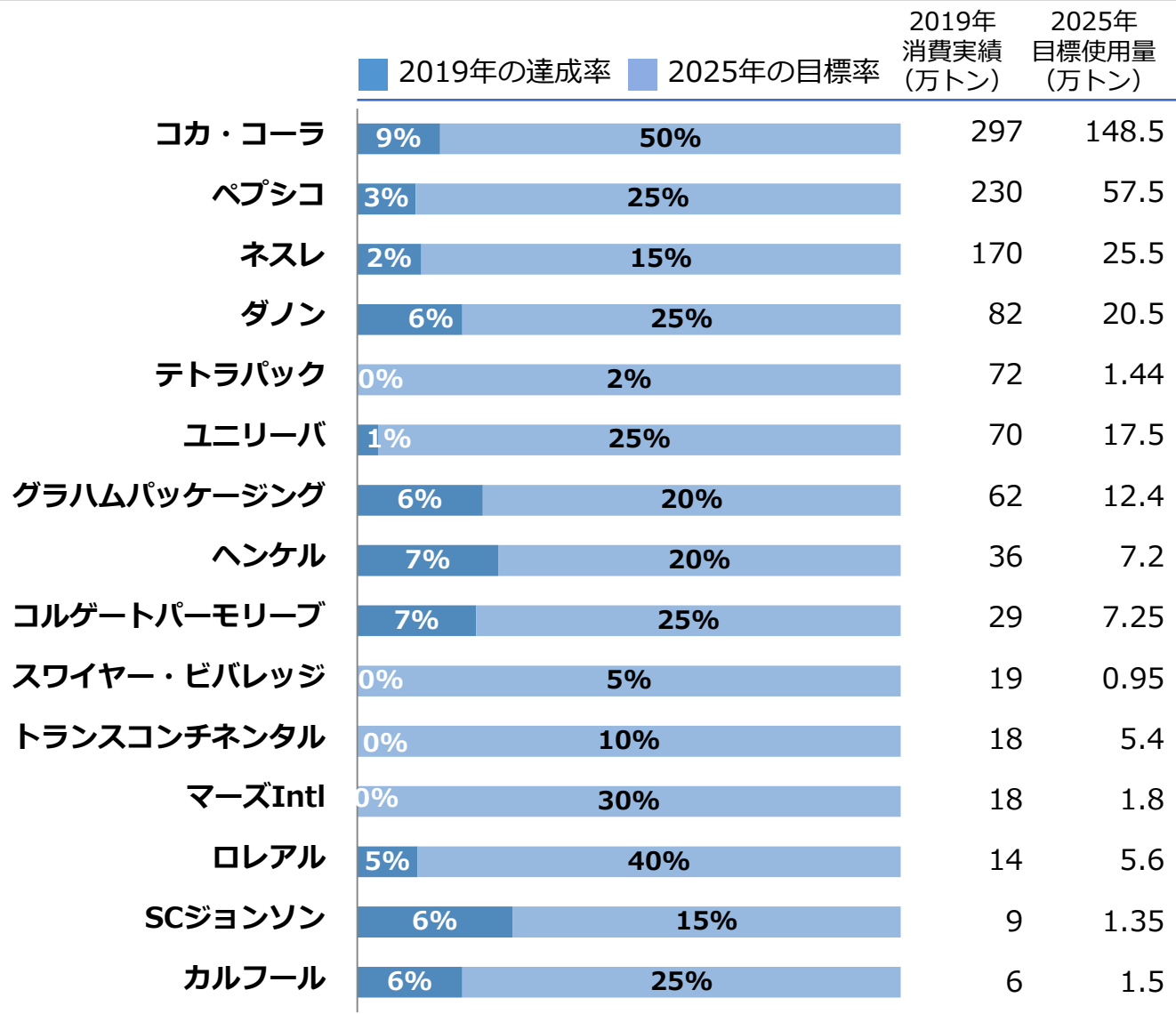


出典：JETROビジネス短信を基に当社作成

## 官民あがての資源確保と国内循環の取り組みが必要

# 参考：グローバル企業の再生材利用状況

Satisfactory



出典：エレンマッカーサー財団Global Commitment2020を基に著者作成

## ■ 垣根を越えた資源循環の仕組み作り

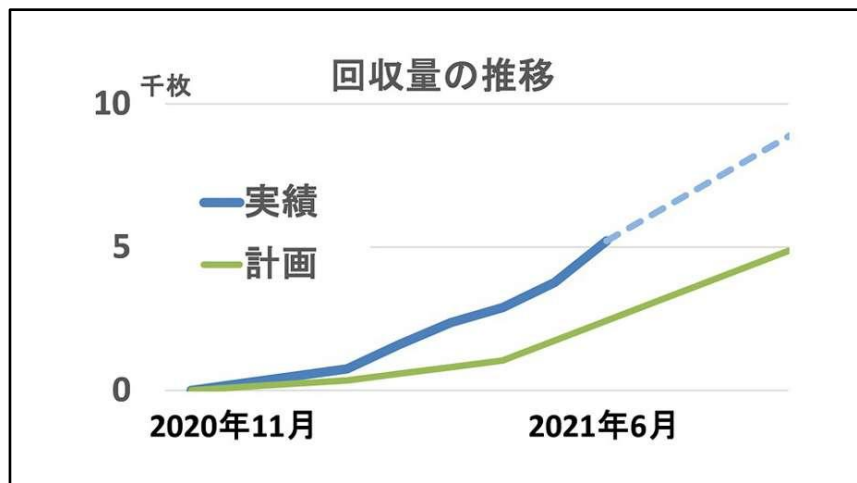
- ケミカルリサイクルを目的とした**複数企業参画による**アールプラスジャパンの設立
- 花王とライオン等、**協働によるプラスチックリサイクル実証実験が増加**
- セブンイレブンやイオンなどの小売り業界も**廃プラスチックの回収網を構築する動き**
- 多くの取り組みは**実証実験レベル**で、資源循環に十分な物量を集められない

## ■ 協働による花王の実証実験



出典：花王HP

## ■ 花王・ライオンのリサイクル実証実験進捗



出典：花王HP

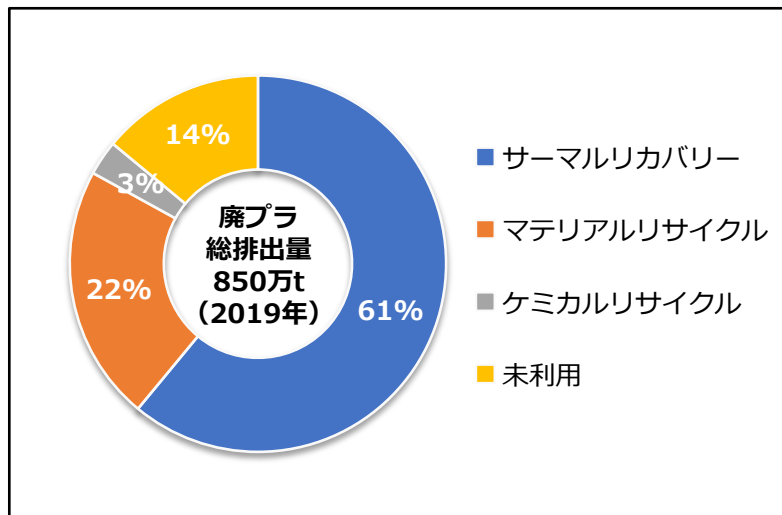
→実用レベルには程遠い物量

国内確保できる物量は極めて少ない現実

## ■ 静脈産業をいかに巻き込むか

- 全国に点在する静脈産業の活用（**15万社の廃棄物処理会社と数千社のリサイクラーの情報精査**）
- 未利用・サーマルリカバリー分を活用（**マテリアル・ケミカルリサイクル分へ移行**）
- 廃プラスチックを資源と捉え廃棄物からの選別・分別（**廃棄物を有価物に変える仕組みづくり**）
- 点在する廃プラスチックの効率的な回収（**複合的な廃棄物処理業者の物流デザイン**）
- 静脈産業から国内メーカーへ供給網の構築（**トレーサビリティを伴う出口デザイン**）

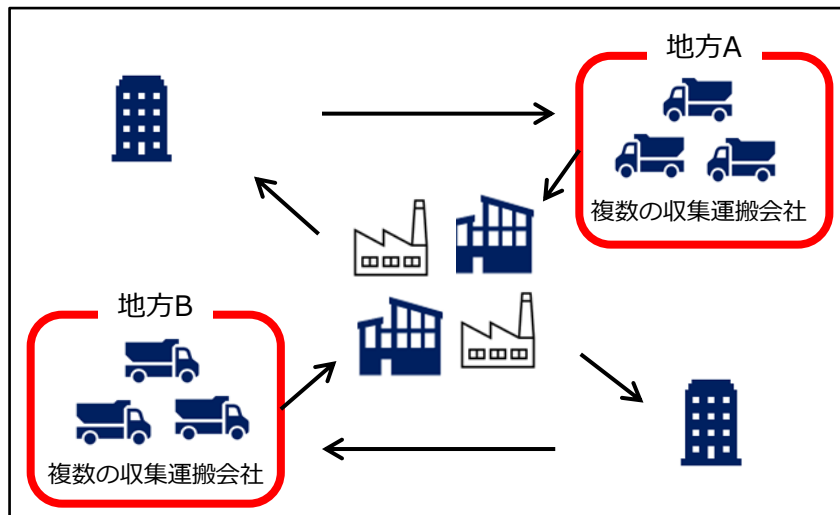
## ■ プラスチックリサイクルの割合



出典：プラスチック循環利用協会資料を基に当社作成

→マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルの物量を増やすためには出口を見据えた分別が必須

## ■ 物流デザインとコンソーシアム化



イメージ図：当社作成

→排出事業者 + 静脈物流 + 再生材を利用するメーカーが複合的につながる仕組みが必要

## 国内企業の競争力維持のためにも早急な再生材確保の仕組み作りを

## ■ 該非判断基準

**(1) 複数のプラスチック樹脂の混合がないもの**

**(2) 複数のプラスチック樹脂 (PE、PP、PET) の混合があるもの**

### B3011 プラスチックの廃棄物

- 次に掲げるプラスチックの廃棄物であって、環境上適正な方法で再生利用することを目的とし、かつ、ほとんど汚染されておらず、及び他の種類の廃棄物をほとんど含まないもの
  - 主として一のハロゲン化されていない重合体（次の重合体を含むが、これらに限定されない。）から成るプラスチックの廃棄物
    - ポリエチレン (PE)
    - ポリプロピレン (PP)
    - ポリスチレン (PS)
    - アクリロニトリルブタジエンスチレン (ABS)
    - ポリエチレンテレフタレート (PET)
    - ポリカーボネート (PC)
    - ポリエーテル
  - 主として一の硬化した樹脂又は縮合物（次の樹脂を含むが、これらに限定されない。）から成るプラスチックの廃棄物
    - 尿素ホルムアルデヒド樹脂
    - フェノールホルムアルデヒド樹脂
    - メラミンホルムアルデヒド樹脂
    - エポキシ樹脂
    - アルキド樹脂
  - 主として次の一のふっ化重合体から成るプラスチックの廃棄物（消費者によって捨てられた廃棄物を除く。）
    - パーフルオロエチレン-プロピレン (FEP)
    - パーフルオロアルコキシアルカン
      - テトラフルオロエチレン-パーフルオロアルキルビニルエーテル (PFA)
      - テトラフルオロエチレン-パーフルオロメチルビニルエーテル (MFA)
    - ふっ化ポリビニル (PVF)
    - ふっ化ポリビニリデン (PVDF)
- ポリエチレン (PE)、ポリプロピレン (PP) 又はポリエチレンテレフタレート (PET) から成るプラスチックの廃棄物の混合物であって、環境上適正な方法で各物質に分別し、再生利用することを目的とし、かつ、ほとんど汚染されておらず、及び他の種類の廃棄物をほとんど含まないもの

表 日本の廃プラスチック輸出量の推移

(単位:万トン、%)

国・地域	2016年 輸出量	2017年 輸出量	2018年 輸出量	2019年 輸出量	2020年		
					輸出量	構成比	前年比
総輸出量	152.7	143.1	100.8	89.8	82.1	100.0	△ 8.6
マレーシア	3.3	7.5	22.0	26.2	26.1	31.8	△ 0.3
ベトナム	6.6	12.6	12.3	11.7	17.4	21.2	49.0
台湾	6.9	9.1	17.7	15.2	14.1	17.2	△ 7.4
タイ	2.5	5.8	18.8	10.2	6.1	7.4	△ 40.5
韓国	2.9	3.3	10.1	8.9	5.4	6.6	△ 39.1
香港	49.3	27.5	5.4	5.7	3.1	3.8	△ 46.2
インド	0.4	0.8	2.1	2.8	3.0	3.7	8.2
インドネシア	0.0	0.3	2.0	1.7	2.7	3.3	57.8
米国	0.2	0.4	0.9	1.6	1.2	1.5	△ 21.3
中国	80.3	74.9	4.6	1.9	0.7	0.8	△ 65.4

↓  
中国政府の禁輸措置の影響

↓  
中国に代る輸出先国

※主にペレットによる輸出

→国内企業よりも高い価格で取引が行われている

出典：JETROビジネス短信2020別添資料、赤枠・赤字：当社加筆



## ■ 参照・引用資料

- ブラジャーナル, 「【PETボトル】回収量トップ30とペール品市況」, 2021年11月1日 (<https://plasticjournal.net/backnumber/plastic-pollution-problems/477.htm>)
- エレンマッカーサー財団, 「Global Commitment 2020」, 2020年 (<https://ellenmacarthurfoundation.org/news/global-commitment-2020-progress-report-published>)
- JETRO 「JETROビジネス短信」, 2020年2月3日 ([https://www.jetro.go.jp/view\\_interface.php?blockId=31397310](https://www.jetro.go.jp/view_interface.php?blockId=31397310))
- 花王株式会社, 「プレスリリース」, 2021年7月9日 (<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2021/20210709-001/>)
- 花王株式会社, 「プレスリリース」, 2021年9月29日 (<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2021/20210929-001/>)
- プラスチック利用循環協会, 「プラスチックリサイクルの基礎知識」, 2021年 (<https://www.pwmi.or.jp/pdf/panf1.pdf>)
- 環境省, 「プラスチックの輸出に係るバーゼル法該非判断基準について」 (<https://www.env.go.jp/recycle/yugai/pdf/r021130.pdf>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： [info@sfinter.com](mailto:info@sfinter.com)



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### — サステナブルレポートとは？ —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で  
毎週更新中